

# Minitab Workspace® 展開ガイド

このガイドでは、 のインストールとライセンスの Minitab Workspace手順について説明します。

Minitab Workspaceをインストールすることにより、 [ソフトウェアサブスクリプション契約](#) および [プライバシー通知](#)の条項に同意するものとします。これらの条項に同意しない場合は、ソフトウェア パッケージをアンインストールします。ソフトウェアをエンドユーザーに展開する場合は、そのユーザーに代わってこれらの条項に同意することになります。

## Minitab Workspace の導入

コマンドラインを使用して、クライアントコンピュータにMinitab Workspaceをインストールできます。それには、適切なコマンドライン構文を使用してインストールごとにライセンス情報を指定する必要があります。以下の表に、エンドユーザーに対するコマンドライン導入または一括導入で使用可能なプロパティとスイッチの概要を示します。

### EXE スイッチ表

コマンドラインのスイッチ	許容値	説明
/exelang	1031 1033 1034 1036 1041 1042 1046 2052	インストールとアプリケーションのデフォルト言語を指定します。言語を指定しない場合、インストーラはシステムの地域設定に従ってデフォルトの言語を設定するか、一致がない場合はデフォルトで英語に設定します。 1031=ドイツ語 1033=英語 1034=スペイン語 1036=フランス語 1041=日本語 1042=韓国語 1046=ポルトガル語 2052=簡体字中国語
/exenoui		サイレントインストールで必要です。変更されたエンドユーザー エクスペリエンスの適切なMSIスイッチと一緒に使用します（例、/qn, /qb, /passive）。

### MSI スイッチ表（共通）

コマンドラインのスイッチ	説明
/passive	基本ユーザーインターフェイス、進捗バーのみ
/qn	静か、ユーザーインターフェイスなし

コマンドラインのスイッチ	説明
/qb	基本ユーザーインターフェイス、インストール中にキャンセルボタンがアクティブになる
/qr	ユーザーインターフェイス減少、インストール中にキャンセルボタンがアクティブになる

## プロパティ表

プロパティ	許容値	説明
APPPDIR		カスタムインストールディレクトリを指定します。
ACCEPT_SOFTWARESUBSCRIPTIONAGREEMENT 1		必須プロパティ。このプロパティの値を指定することにより、 <a href="#">ソフトウェア サブスクリプション契約とプライバシー通知</a> ポリシーの条項に同意します。
LICENSE_SERVER	サーバー名またはIPアドレス	マルチユーザーライセンスと併用して、Minitab License Managerを保有するサーバーを指定します。 <ul style="list-style-type: none"><li>PRODUCT_KEY、LICENSE_PORTAL、またはFILE_LOCと互換性がありません</li></ul>
LICENSE_SERVER_PORT	27000から27009	マルチユーザーライセンスと併用する場合、必要に応じてMinitab License Manager サーバー受信ポートを指定してください。
PRODUCT_KEY	18桁の製品キー	プロダクトキーを指定することで、シングルユーザー ライセンスをアクティブ化できます。 <ul style="list-style-type: none"><li>LICENSE_SERVER、LICENSE_SERVER_PORT、LICENSE_PORTAL、またはFILE_LOCと互換性がありません</li></ul>

プロパティ	許容値	説明
FILE_LOC	ファイル名を含む、ライセンスファイルへの完全修飾パス	ファイルを使用する代替ライセンスマニフェストファイルを使用する代替ライセンスマニフェスト Minitab License Managerのスタンドアロンライセンス設定での使用は意図されていません。 <ul style="list-style-type: none"><li>• LICENSE_SERVER, LICENSE_SERVER_PORT, LICENSE_PORTAL、またはと互換性がありません</li><li>• PRODUCT_KEY</li><li>• minitab.licの場所に対応します。</li></ul>
LICENSE_PORTAL	1	サインインが必要なオンラインアカウントでのみ使用できます。 <ul style="list-style-type: none"><li>• LICENSE_SERVER, LICENSE_SERVER_PORT, PRODUCT_KEY、またはと互換性がありません</li><li>• FILE_LOC</li></ul>
PERSONAL_FOLDER	ユーザーのコンピュータの位置へのパス	個人用テンプレートの保存場所。デフォルトで、個人フォルダはユーザーの[アプリケーションデータ]フォルダ内にあります。
WORKGROUP_FOLDER	ネットワークフォルダなどの、通常アクセスできる場所へのパス	個人用テンプレートの保存場所。ワークグループフォルダにはデフォルト値はありません。

プロパティ	許容値	説明
ProductLanguage	1031 1033 1034 1036 1041 1042 1046 2052	インストールとアプリケーションのデフォルト言語を指定します。このプロパティは、Minitab Group Policy一ファイル内でのみ設定できます。その他の言語オプションについては EXEスイッチ表をご覧ください。 1031=ドイツ語 1033=英語 1034=スペイン語 1036=フランス語 1041=日本語 1042=韓国語 1046=ポルトガル語 2052=簡体字中国語
DISABLE_UPDATES	1	<p>このプロパティで値を指定すると、ソフトウェアの更新確認機能をオフにすることになります。このオプションを無効にすることで、自動確認と手動確認が行われなくなります。少なくとも1台のパソコンで、このオプションを有効にしておくことをお勧めします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>このプロパティは、展開設定がMinitabライセンスポータルサブスクリプションを通じて管理されるため、LICENSE_PORTAL=1の場合には適用されません。</li> </ul>

## コマンドラインの詳細

- 、/qb、または/pассивを使用する場合は、/exenouiスイッチを使用する必要があります。
- コマンドラインのスイッチが正しい順序になっていることを確認します。
  - EXE スイッチはスイッチの前に置く必要があります MSI。
  - MSI スイッチはプロパティの前になければなりません MSI。
- ライセンスプロパティ (LICENSE\_PORTAL, PRODUCT\_KEY, LICENSE\_SERVER, または FILE\_LOC)を指定しない場合は、無料試用版がインストールされます。
- Minitab Workspaceの以前のバージョンがインストールされている場合、アップグレード中に指定されていない場合、既存の値は APPDIR, LICENSE\_PORTAL, LICENSE\_SERVER, LICENSE\_SERVER\_PORT, および PRODUCT\_KEY に使用されます。

## 必須構文

次のコマンドを使用します: **productV.v.v.vsetup.exe**, ここで、

- 小文字 **product** はソフトウェアの名前です。
- 大文字 **V** は、ソフトウェアのメジャー リリース番号を示します。
- 小文字 **v** (最大 3)は、ソフトウェアのメジャー リリースの更新を示します。

例: minitabworkspace1.4.2setup.exe [EXE スイッチ表] [MSI スイッチ表] [プロパティ表]

## 例

注 以下の例には改行は含まれません。

**デフォルト言語の英語、アカウントのサインインをサイレントインストールする:**

```
productV.v.v.vsetup.exe /exenoui /exelang 1033 /qn ACCEPT_SOFTWARESUBSCRIPTIONAGREEMENT=1  
LICENSE_PORTAL=1
```

**静かにインストール、ドイツ語のデフォルト言語:**

```
productV.v.v.vsetup.exe /exenoui /exelang 1031 /qn ACCEPT_SOFTWARESUBSCRIPTIONAGREEMENT=1
```

**デフォルト言語の英語、マルチユーチャーライセンスをサイレントインストールする :**

```
productV.v.v.vsetup.exe /exenoui /exelang 1033 /qn ACCEPT_SOFTWARESUBSCRIPTIONAGREEMENT=1  
LICENSE_SERVER=サーバー名
```

**デフォルト言語の英語、マルチユーチャーライセンス設定のサーバーとポート、ワークグループおよび個人用テンプレートフォルダ設定、アップデートが無効になっていることの確認機能をサイレントインストールする :**

```
productV.v.v.vsetup.exe /exenoui /exelang 1033 /qn ACCEPT_SOFTWARESUBSCRIPTIONAGREEMENT=1  
LICENSE_SERVER=サーバー名 LICENSE_SERVER_PORT=27000  
WORKGROUP_FOLDER=\\server1\\workgroup PERSONAL_FOLDER=C:\\templates DISABLE_UPDATES=1
```

**デフォルト言語の英語、ライセンスファイルをサイレントインストールする :**

```
productV.v.v.vsetup.exe /exenoui /exelang 1033 /qn ACCEPT_SOFTWARESUBSCRIPTIONAGREEMENT=1  
FILE_LOC="C:\\minitab.lic"
```

**デフォルト言語の英語、製品キー付きのシングルユーチャーライセンス、およびカスタムインストールディレクトリをサイレントインストールする :**

```
productV.v.v.vsetup.exe /exenoui /exelang 1033 /qn ACCEPT_SOFTWARESUBSCRIPTIONAGREEMENT=1  
PRODUCT_KEY=123456789012345678 APPDIR="C:\\新しいカスタム インストール フォルダ"
```

**Minitab Workspace をサイレントアップグレードする :**

```
productV.v.v.vsetup.exe /exenoui /qn ACCEPT_SOFTWARESUBSCRIPTIONAGREEMENT=1
```

**Minitab Workspace 製品コードを使用してサイレントアンインストールする :**

```
msiexec /x {Product Code} /qn
```

Product Codeee レジストリの場 :

```
[HKEY_LOCAL_MACHINE\\SOFTWARE\\WOW6432Node\\Microsoft\\Windows\\CurrentVersion\\Uninstall\\Minitab  
Workspace V.v.v.v]
```

文字列 : UninstallPath

# Group policy の使用法

Mass Deployment PackageのGroupPolicyにあるMSIは、Group Policy一展開方法にのみ使用します。プロパティが正しく設定されていることを確認するには、Group PolicyMSIsを再パッケージ化ツールと組み合わせて使用します。

- 既定の言語として英語を使用してMinitab Workspaceをインストールするには、  
productV.v.v.vsetupGroupPolicy.English.msiを使用します。
- 英語以外の既定の言語でMinitab Workspaceをインストールするには、  
productV.v.v.vsetupGroupPolicy.MultiLanguage.msiを 使用します。

ProductLanguageプロパティは、サポートされている言語の値に設定します。サポートされている言語の値の一覧については、プロパティの表を参照してください。